



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社

コード番号 4914

URL <https://www.takasago.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榎村 聡

問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 木林 孝之 (TEL) 03-5744-0523

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	121,793	6.7	7,432	45.3	8,169	51.4	6,517	34.4
2021年3月期第3四半期	114,143	△1.7	5,116	92.3	5,393	88.0	4,848	54.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,828百万円(47.6%) 2021年3月期第3四半期 4,627百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	332.09	—
2021年3月期第3四半期	247.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	191,487	107,073	55.1
2021年3月期	184,512	101,349	54.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 105,421百万円 2021年3月期 99,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	9.7	7,000	11.3	7,200	△1.1	6,200	△13.3	316.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	20,152,397株	2021年3月期	20,152,397株
2022年3月期3Q	517,986株	2021年3月期	536,170株
2022年3月期3Q	19,625,398株	2021年3月期3Q	19,610,347株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の制限と緩和を繰り返しながらも、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らぎ、雇用・所得環境ははまだ弱めの動きとなっているものの、個人消費や企業収益・業況感は全体として持ち直しの動きが鮮明となりました。世界経済につきましては、ワクチン普及の度合いに応じて国・地域ごとにばらつきを伴いつつ、総じてみれば回復に向かいました。今後の内外経済の見通しにつきましても、感染対策と経済活動の両立が図られるもとの、基調としては回復を続けるものと思われまます。ただし、今後も新たな変異株を含む感染症の動向やそれが内外経済に与える影響、また、資源価格や供給制約の動向等、依然として不確実性が大きい状況が続くものと思われまます。

香料業界においては、競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「海外の成長促進」「国内の利益改善」「サステナビリティの推進」の3つを基本方針とする中期経営計画『New Global Plan (NGP-1)』(2021-2023年度)を始動させ、事業を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、121,793百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益は7,432百万円(前年同四半期比45.3%増)、経常利益は8,169百万円(前年同四半期比51.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,517百万円(前年同四半期比34.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末と比較して6,974百万円増加し、191,487百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の増加4,909百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,250百万円増加し、84,413百万円となりました。主なものは、支払手形及び買掛金の増加4,149百万円、長期借入金の減少3,106百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して5,723百万円増加し、107,073百万円となりました。主なものは、利益剰余金の増加5,435百万円、為替換算調整勘定の増加2,859百万円、その他有価証券評価差額金の減少2,974百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,879	14,703
受取手形及び売掛金	34,331	39,240
商品及び製品	26,742	28,589
仕掛品	174	160
原材料及び貯蔵品	15,701	18,035
その他	4,124	3,255
貸倒引当金	△198	△224
流動資産合計	91,754	103,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,263	31,474
その他（純額）	25,893	25,233
有形固定資産合計	57,156	56,708
無形固定資産	2,000	2,644
投資その他の資産		
投資有価証券	27,600	23,516
その他	6,393	5,317
貸倒引当金	△392	△459
投資その他の資産合計	33,601	28,374
固定資産合計	92,758	87,727
資産合計	184,512	191,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,893	18,042
短期借入金	18,984	17,402
1年内返済予定の長期借入金	5,617	8,197
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	1,113	886
賞与引当金	1,919	972
役員賞与引当金	28	19
その他	8,615	10,086
流動負債合計	50,370	55,807
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	18,702	15,595
役員退職慰労引当金	12	16
退職給付に係る負債	9,431	9,707
その他	4,446	3,286
固定負債合計	32,792	28,606
負債合計	83,163	84,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,378	8,383
利益剰余金	74,886	80,322
自己株式	△1,300	△1,244
株主資本合計	91,213	96,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,638	10,664
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△4,279	△1,419
退職給付に係る調整累計額	△596	△533
その他の包括利益累計額合計	8,763	8,711
非支配株主持分	1,371	1,651
純資産合計	101,349	107,073
負債純資産合計	184,512	191,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	114,143	121,793
売上原価	80,243	83,053
売上総利益	33,900	38,739
販売費及び一般管理費	28,783	31,307
営業利益	5,116	7,432
営業外収益		
受取利息	69	57
受取配当金	332	335
持分法による投資利益	140	15
為替差益	—	268
その他	640	529
営業外収益合計	1,182	1,205
営業外費用		
支払利息	391	373
為替差損	412	—
その他	100	95
営業外費用合計	905	468
経常利益	5,393	8,169
特別利益		
固定資産売却益	6	13
投資有価証券売却益	996	914
助成金収入	—	36
受取保険金	—	1
特別利益合計	1,002	965
特別損失		
固定資産処分損	37	371
固定資産圧縮損	—	37
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	37	413
税金等調整前四半期純利益	6,359	8,720
法人税、住民税及び事業税	945	1,456
法人税等調整額	469	511
法人税等合計	1,414	1,967
四半期純利益	4,944	6,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	235
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,848	6,517

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,944	6,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	607	△2,974
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△891	2,830
退職給付に係る調整額	52	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△81	155
その他の包括利益合計	△317	74
四半期包括利益	4,627	6,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,541	6,465
非支配株主に係る四半期包括利益	85	362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。なお、変動対価が含まれる取引については、その不確実性が事後的に解消される際に、収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、取引価格に含めております。また、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。さらに、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。有償受給取引については、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	49,723	26,425	18,705	19,290	114,143	—	114,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,433	233	2,097	164	9,929	△9,929	—
計	57,156	26,659	20,802	19,454	124,073	△9,929	114,143
セグメント利益	148	1,990	773	2,119	5,031	84	5,116

(注) 1. セグメント利益の調整額84百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額171百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△86百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
香料事業 (注)3	50,218	28,115	21,145	21,229	120,708	—	120,708
顧客との契約から生じる収益	50,218	28,115	21,145	21,229	120,708	—	120,708
その他の収益 (注)4	1,084	—	—	—	1,084	—	1,084
外部顧客への売上高	51,302	28,115	21,145	21,229	121,793	—	121,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,357	280	1,852	193	11,683	△11,683	—
計	60,660	28,396	22,997	21,422	133,476	△11,683	121,793
セグメント利益	2,777	1,939	872	2,035	7,624	△192	7,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△192百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額196百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△390百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載していません。